

ACCESS

■ 横浜市営地下鉄ブルーライン主要駅から蒔田駅までの所要時間



■ 蒔田駅から横浜英和学院までの所要時間



「横浜英和学院」までの所要時間
地下鉄蒔田駅…徒歩8分
京急井土ヶ谷駅…徒歩18分
バス停通町1丁目…徒歩10分



学校法人 横浜英和学院
青山学院横浜英和小学校

〒232-8580 横浜市南区蒔田町124番地 TEL:045-731-2863 FAX:045-743-3353
<https://www.yokohama-eiwa.ac.jp/shougakkou/>



Aoyama Gakuin Yokohama Eiwa
Elementary School



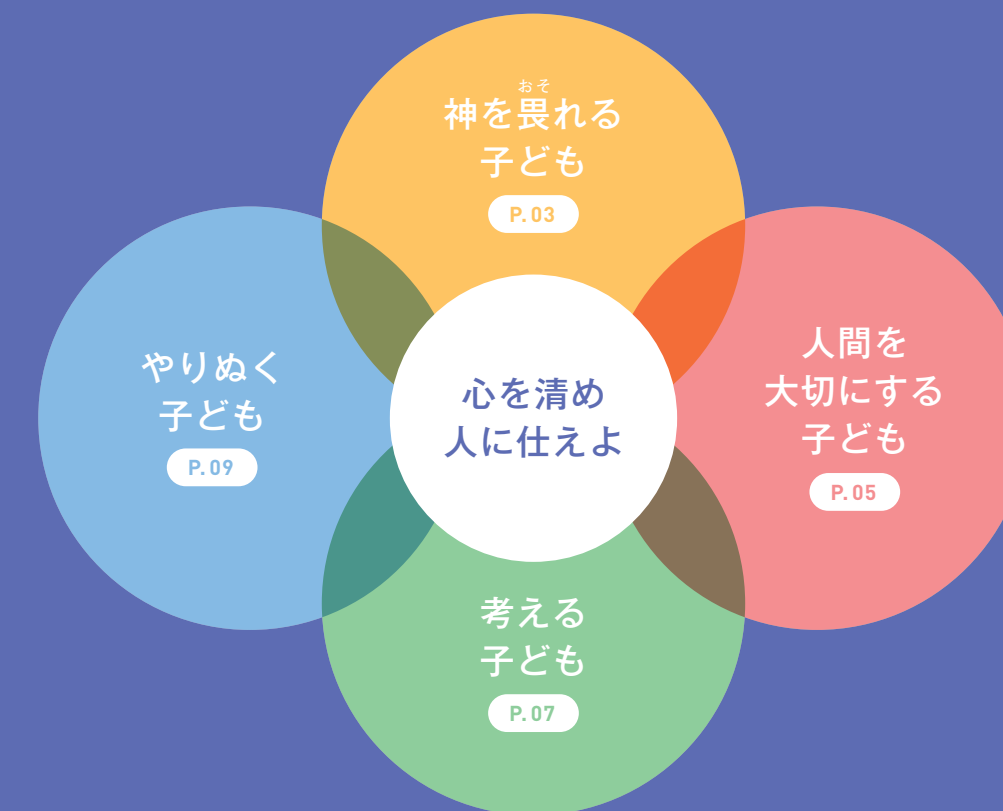
青山学院横浜英和小学校 心を清め 人に仕えよ



Live together

共に生きる

4つの教育目標



青山学院横浜英和小学校では、スクールモットー「心を清め 人に仕えよ」をより具現化した、4つの教育目標を掲げて日々の教育活動を行っています。

MESSAGE

かけがえのない一人のために

青山学院横浜英和小学校は、「かけがえのない一人」に対して、神からの「愛」と「人格教育」を大切にしているキリスト教信仰にもとづく教育の場です。人は、教育によって真の人間となります。受けた教育は、虫に食われたり盗人に盗まれることはありません。受けた教育の価値は永遠であり、失われるどころか使うほどにその輝きを増していき、一生を支える人生の土台となっていきます。青山学院横浜英和小学校は、これからも青山学院との教育連携の中で新しい時代に生きる子どもたちを見据え、可能な限り社会と時代の要請に応えるために質の高い教育を構築していきます。

青山学院横浜英和小学校 校長
中村 貞雄



神を畏れる子ども

神様と向き合う基本姿勢として、神を畏れ敬う心を育てます。そして、私たち一人一人は、神様に愛されているかけがえない存在であることを知り、お互いを愛し、赦し、尊敬する心を養います。

毎日の礼拝

毎朝、全校児童が礼拝堂に集い、神様を賛美し、祈りをささげます。心を落ち着けて、聖書をととして生き方を考える大切な時間です。

聖書の授業

1年生から6年生まで、週1時間の聖書の授業があります。幼いころから聖書に親しみ、神様に愛されているかけがえない自分を知り、聖書の教えに従って生きる生き方を実践できるように学びます。

特別礼拝

イースター礼拝やペンテコステ礼拝、クリスマス賛美礼拝など、キリスト教の暦に沿って行われる特別な礼拝です。教会の牧師先生をお招きしてお話を聞いたり、花の日・子どもの日礼拝や収穫感謝礼拝では、先生のお話を聞いたりします。



人間を大切にする 子ども

神様によって創造された一人ひとり、等しく尊い存在です。小学校での6年間、様々な経験を重ねることによって、誰に対しても思いやりを持って接することができる、豊かな心を育てます。

パンと牛乳の日

—もう一人の友だちのために—

貧困で苦しむ人々のために自分たちができることはないかと、児童会の発案で1987年に始まった『パンと牛乳の日』。月に1度給食のおかずを我慢して生み出したお金で16人の里子を支援しています。

SDGs への 取り組み

児童会が主体となり、ペットボトルキャップ・古切手・アルミ缶プルタブを収集しています。ペットボトルキャップは再生プラスチック原料として換金され、ポリオワクチン購入代としてNPO団体へ寄付しています。

聖坂支援学校との 交流会

5年生児童が、初めて会った支援学校のお友だちとペアになって、一日を一緒に過ごします。相手の気持ちを考えて行動することや、寄り添うことの大切さを学ぶことは、心の成長につながっています。



平和教育

講師をお招きしてさまざまな国の様子や、平和について考える講演会を行っています。他者を思いやりと同時に、自分自身を見つめ直し、広い視野を持って隣人を愛すること、平和を願い、平和をつくり出す人になることをめざします。



異学年交流

1年生から6年生の児童が共に活動する異学年との交流を大切にしています。各クラスの同じ出席番号の12人が1グループになり、お弁当を食べて遊ぶ会を定期的に行っています。また、6年生が担当の1年生のお世話をしたり、1～3年生までの3学年縦割りグループで遊んだりする活動も行っています。



考える子ども

教えられたことをただ学ぶのではなく、教師や友だちと共に考え、共に話し合い、触れ合うことを大切にする授業を通じて、児童が主体的に行動するために必要な、考える力を養います。

国語教育

1年生から作文指導に力を入れています。特に、その日一番心に残ったことをよく思い出し、丁寧に書く日記は、自分自身を見つめることを通して明日のより良い生活へとつながり、同時に文章表現力も養います。6年生は、自ら決めたテーマで資料を集め、考察し、意見を綴る卒業論文を、長い期間をかけて書き上げています。

算数教育

単なる計算問題の解法だけではなく、なぜそうなるのかを考え、自ら答えを導き出す力を養います。に加えて、習熟のため本校独自の問題集を使用しています。5・6年生は「基礎編」と「応用編」の2種類を用意し、個々の理解度に合わせて学習を進めています。一人ひとりのペースに合わせて丁寧に指導を行い、算数を通して考える楽しさを味わえる授業をめざしています。

理科教育

実験や観察を多く取り入れ、感動から学びを深める授業が展開されています。特に観察の授業ではカブトムシの幼虫の観察や顕微鏡を使った観察など多岐にわたり、気づく力を養っています。城ヶ島の地層見学や、葉山ハートセンターの見学など、校外学習も多く行い、鳥の足や豚の内臓などの解剖実験は中高の教員と協力して小グループで行うなど、見て触れる体験を重視した授業を行っています。



社会科教育

社会で起こるできごとを自分のこととして捉える、ということを大切にしています。自分たちの身の回りのことから、世界で起こる問題へと広がっていき、視野を広げて学ぶカリキュラムを組んでいます。また、本物を通して学ぶことを重視し、校外学習を多く実施し、教室での学びをさらに深い学びへとつなげていくことができます。

英語教育

ネイティブ教員と専科教員の2人体制で行います。1年生からリスニングやスピーキングを積極的に行い、英語の音声やリズムに慣れ、次第にスピーチやロールプレイなど多様な活動を通して表現力を高めていきます。3年生からアルファベットや単語の練習なども行い、ライティングの力もしっかりとつけていきます。

ICT教育

ICT機器利用のスキルを学ぶ学習を1年生から授業に取り入れ、3年生より1人1台の端末を配備し学習の中で活用しています。普通教室と特別教室に70インチの電子黒板を設置しています。学習道具として、ICTを自らの成長のために正しく使う判断力を養い、情報社会の中で神と人のために貢献できる「仕える人」としての確かな資質を育みます。



やりぬく子ども

何事も最後までまじめに取り組むことは、子どもたちの可能性を大きく伸ばす経験となります。日々の学習、年間を通して取り組む委員会やクラブ活動、学校行事の中で、やりぬくことの大切さを学びます。

新聞をつくる

新聞を書くためには、よく見て、よく聴いて、よく考えて、取材をすることが大事です。そして、それを限られた文字数の中でどう伝えるかを考え、紙面に反映させていきます。情報を見抜く力と論理的思考力、そして、文章表現力を向上させることができます。



観察

観察の時間を多くとり、根気強く見る力、また、一つのものをみて多くのことに「気づく力」を養います。「気づく力」はやがて発想する力や行動する力につながっていきます。子どもたちは、とても丁寧で、細部にまで気づきのある素晴らしいスケッチを仕上げるすることができます。



英語スピーチコンテスト

毎年9月に英語スピーチコンテストを実施しています。3～6年生の希望者が、約3か月間の練習を行い、みんなの前で発表します。どうやったらより分かりやすく伝わるのか、それぞれが工夫し、やりとげることで大きな達成感を味わうことができます。



フェスティバル

毎年11月に学習発表をします。学年ごとに、演劇・合唱・和太鼓などに取り組み、約1か月間の練習を経て発表します。仲間と協力して作り上げることや、ホールの大舞台上で演じることは大きな達成感と充実感を得ることができます。



ONE DAY

青山学院横浜英和小学校の1日



1年生じかんわり 一例

	月	火	水	木	金
	あさのかい・れいはい・あさどくしょ				
1じかんめ	さんすう	さんすう	こくご	こくご	さんすう
2じかんめ	せいかつ	せいかつ	さんすう	こくご	こくご
	20分休み				
3じかんめ	ずこう	おんがく	おんがく	そとたいいく	たいいく
4じかんめ		パソコン	たいいく	えいご	どくしょ
	きゅうしょく		おべんとう	きゅうしょく	
	ひるやすみ				
5じかんめ	こくご	こくご	こくご	せいしよ	こくご
	かえりのかい				クラスのじかん
					かえりのかい

POINT 1

YMCA 青山学院横浜英和小学校アフタースクール

子どもたちが、放課後、健やかに安心して過ごせる空間、体験したいことができる有意義な環境づくりをめざしています。運動能力が向上する「キッズコーディネーションプログラム」や基本的なパソコンスキルを身につける「パソコン教室」なども行っています。活動終了後、YMCAスタッフが最寄りの蒔田駅まで引率し、乗車を確認します。



POINT 2

学校給食

学校給食を通して健康な体をつくり、心の成長を遂げていくようにと考えて、1957年9月から始められました。正しいマナーは人間同士の楽しい関係を作るものであり、給食の約束を守ることは、大切な教育活動のひとつであると考えています。



ANNUAL EVENTS

青山学院横浜英和小学校の年間行事

4 April ・入学式 ・1年生を迎える会 ・プレーデー ・イースター礼拝	5 May ・自然学校 (2～6年生)	6 June ・花の日・子どもの日 礼拝	7 July ・水泳教室
8 August ・夏休み	9 September ・芸術鑑賞会 ・自然学校(1年生) ・英語スピーチ コンテスト	10 October ・聖坂支援学校との 交流会(5年生)	11 November ・収穫感謝礼拝 ・フェスティバル ・思い出旅行(6年生) ・球技大会
12 December ・クリスマス賛美礼拝	1 January ・児童向け講演会	2 February ・卒論発表会	3 March ・6年生を送る会 ・卒業式



プレーデー



球技大会

1年生 遠足



6年生 思い出旅行



6年生 思い出旅行



水泳教室

PICK UP EVENT

OUTDOOR EDUCATION TRIP

自然学校

自然学校は1924年から続いている行事です。1年生から6年生まで、それぞれの学年に合わせた場所やプログラムで行っています。特に、4・5・6年生は学年の枠を超えて縦割りでの活動を行っています。神様が作られた自然の偉大さを共に感じ、寝食を共にする共同生活の楽しさ、難しさを学ぶ良い機会となっています。



2年生 自然学校



4・5・6年生 自然学校



3年生 自然学校



4・5・6年生 自然学校



1年生 自然学校



4・5・6年生 自然学校

ACTIVITIES

児童会活動・合唱隊・クラブ活動



パソコンクラブ



テニスクラブ



サッカークラブ



ハンドベルクラブ



放送委員会



図書委員会



緑化委員会



合唱隊

児童会活動

学校の教育目標に基づき、児童の自治活動によって自主的・社会的な生活態度を身につけることを目的とし、4年生以上の児童がより良い学校づくりのために活動しています。

- ・学級委員会
- ・宗教委員会
- ・放送委員会
- ・図書委員会
- ・体育委員会
- ・保健委員会
- ・給食委員会
- ・美化委員会
- ・緑化委員会
- ・新聞委員会
- ・集会委員会
- ・ボランティア委員会

合唱隊

4年生以上の歌うことが好きな人たちが週に一回、放課後に集まって発声法を学び、イースターやクリスマスの礼拝、私立小学校音楽会で歌声を届けています。

クラブ活動

クラブは4年生から参加できます。文化系、スポーツ系などさまざまなクラブがあり、希望したクラブに分かれて学年の枠を超えた活動を行っています。

- ・テニスクラブ
- ・バスケットボールクラブ
- ・卓球クラブ
- ・サッカークラブ
- ・スポーツクラブ
- ・聖句書道クラブ
- ・理科クラブ
- ・パソコンクラブ
- ・ハンドベルクラブ
- ・工芸クラブ

FACILITIES

子どもを育む施設



礼拝堂（外観）



礼拝堂（室内）



ブリテンホール



図書室



家庭科室



校庭



体育館



第2グラウンド



夏服



冬服

ナップサック



補助バッグ



トートバッグ



ランドセル



制服紹介

UNIFORM

GRADUATES
MESSAGE

卒業生
からの
メッセージ



坂内 真海さん
2018年度 卒業
青山学院大学
英米文学科 1年



入学式の時の写真

小学校生活で特に思い出に残っているのは、2年生の自然学校で友達とバームクーヘンを作ったことです。火を囲みながら友達と協力して少しずつ生地を重ねていく時間は楽しく、完成した喜びと、そのバームクーヘンの味は今でも忘れられません。また、英語の授業ではスピーチコンテストに出場したことで、英語を学ぶことの楽しさを知り、その経験は英米文学科への進路を決める大きなきっかけとなりました。英和での日々は、いつも見守ってくださる先生方と友達に囲まれながら過ごしたかけがえのないもので、今の私を創った大切な土台となっています。



柳 知香さん
2009年度 卒業
上智大学 法学部 卒業
(株)ファーストリテイリング 勤務



1年親子遠足

「隣人愛」の教えのもと、クラス全員で里親支援に取り組んだことは、今も心に残っています。パンと牛乳の日や、里子の友達とカードを送り合った経験から、日常に感謝する気持ちや、人との繋がりを大切に思うようになりました。また、フェスティバルなど、人前で発表する機会が多かった事も印象が強いです。仲間と練習を重ねる中で、チームで働く事の大切さを学びました。現在はアパレルの商品企画に携わっています。小学校で形成された価値観を軸に、仲間とお客様の立場に寄り添う服を開発しています。



坂腰 美郁さん
2017年度 卒業
横浜国立大学
教育学部 音楽専門領域 2年



3年生の降誕劇にて

スタンドグラスから溢れる光の中での礼拝、自然学校やフェスティバル、合唱隊で仲間と響かせたハーモニー、思い返すと今でも小学校での日々が色鮮やかに蘇ります。できないのが悔しくて放課後まで練習した縄跳び、発音が難しかった英語スピーチが上達したときの喜びはひとしおでした。現在は卒業文集に書いた「音楽の先生」という夢に向かって、大学で音楽教育を学びながら地域の小学校でのボランティア活動や教会学校の奏楽奉仕を積極的に行っています。小学校での豊かな学びと温かく見守ってくださった先生方の存在が、夢の実現への原動力となっています。



徳永 壮亮さん
2008年度 卒業
東京大学大学院
法学政治研究科 修了
公正取引委員会事務局 勤務



小6のプレーデーにて父と全力

振り返ると、小学生の頃の私は休み時間になると理科室や図書室に入り浸るような個性的な子どもでしたが、英和小の先生方にはそのような私の個性を尊重していただき、毎日の楽しい授業や多彩な課外活動を通して、自ら学び考えることの面白さを教えていただきました。また、日々の礼拝やパンと牛乳の日などの取組を通じて、国際社会にも広く目を向け、他者を思いやる心が育まれたと感じています。卒業してから長い年月が経ちましたが、英和小での経験は今も私の中に確かに息づいており、私の大学院までの学生生活や現在の職業生活に活かされています。

HISTORY 沿革

1880 明治 13	1886 明治 19	1900 明治 33	1908 明治 41	1923 大正 12	1939 昭和 14	1996 平成 8	2000 平成 12	2003 平成 15	2004 平成 16	2010 平成 22	2020 令和 2
宣教師H・G・プリテンが プリテン女学校を山手48番に創立	横浜英和女学校に改称	県知事の許可を受け横浜英和女学校附属 幼年学校（小学校）となる	小学校・幼稚園を本校上台に移転	小学校を蒔田の丘に移転	法人名を成美学園に改称、 成美学園小学校となる	法人名を横浜英和学院に改称、 横浜英和小学校となる	学院創立120周年記念式典	小学校新校舎完成	小学校新体育館完成	学院創立130周年記念式典	校名を青山学院横浜英和小学校に改称

CURRICULUM 学年別（週あたり）
教科授業時間

	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭科	体育	聖書	英語	読書	習字	学級会	バレーコン	総合 児童会 クラブ	総時間数
1年	8	-	4	-	2	2	2	-	3	1	1	1	-	1	0.5	-	25.5
2年	8	-	5	-	2	2	2	-	3	1	1	1	-	1	0.5	-	26.5
3年	6	2	5	2	-	2	2	-	3	1	2	0.5	0.5	1	1	-	28
4年	6	3	5	3	-	1.5	2	-	3	1	2	0.5	0.5	1	0.5	0.5	30
5年	5	3	5	3	-	1.5	2	1.5	2.5	1	2	0.5	0.5	1	0.5	0.5	30
6年	5	3	5	3	-	1.5	2	1.5	2.5	1	2	0.5	0.5	1	0.5	0.5	30

AREA 通学方面人数

(単位：人)			
青葉区	7	磯子区	20
都筑区	2	金沢区	6
港北区	20	栄区	2
鶴見区	5	川崎市	31
緑区	3	東京都	31
神奈川区	32	逗子市	1
瀬谷区	2	藤沢市	2
旭区	5	大和市	2
保土ケ谷区	13	鎌倉市	3
西区	42	綾瀬市	1
中区	52	小田原市	1
泉区	3	横須賀市	1
戸塚区	15	三浦郡	2
南区	53	平塚市	2
港南区	33	合計	392

SAFETY MEASURES 安全対策

登校時は警備員が通学路に立ち、父の会のお父様方にもお手伝いいただき安全を確保しています。始業時刻を過ぎると校門は施錠します。下校時は各担任が開錠および施錠し、クラスの方面別グループで帰ります。登下校時刻や、警報が発令された場合の臨時休校などの連絡は、事前に登録されたアドレスにメールでお知らせします。



青山学院大学
との連携

1
青山学院大学の
教育課程との連携

- ・青山学院大学生による教科学習やクラブ活動のアシスタントリーダー。
- ・小学校の自然学校（宿泊行事）でのお手伝い。教育実習生の受け入れ。

2

青山学院大学出張セミナーや
プログラムへの参加

- ・青山学院大学出張セミナーへの参加
- （青山学院横浜英和中学高等学校と共に）や
大学主催プログラムへの参加



3

青山学院初等部との交流

- ・宗教行事における聖歌隊、合唱クラブ、
ハンドベルクラブの合同練習及び合同発表会。
- ・ICT教育や宗教活動等での
教員の勉強会や情報交換。